

東北大学災害科学国際研究所 IRIDeS 金曜フォーラム
2020 年度共同研究成果報告会
兼 災害レジリエンスを考えるパネルディスカッション

災害科学国際研究所は発足以降、災害科学関連の研究領域において多様な共同研究を実施し、実践的防災学の発展につながる数多くの実績を挙げてきました。同時に、本邦の学際的な災害科学研究を推進する中核拠点となり得る施設、研究機器、情報構築、人的体制、ネットワークを整備して参りました。全国関連領域の研究者に本研究所のリソースを活用した共同研究の促進を目的とした助成を行っています。今年は、昨年度に実施された共同研究の成果、プロジェクトエリア・ユニットの活動報告に加え、下記特別企画がございます。

特別企画： 災害レジリエンスを考えるパネルディスカッション

東日本大震災などの巨大災害、異常気象による災害、パンデミック災害などのように被害が連鎖・複雑化する災害は、防災と社会の強靱性（レジリエンス）のあり方に課題をつきつけています。社会の災害レジリエンスを向上させるために、災害科学国際研究所と防災科学技術研究所がどのような共同研究、連携・協力をを行い、さらに国内外の研究者との連携、共同利用・共同研究につなげていくかについて、これまで災害科学国際研究所と連携してきていただいている関係各位とともに考える機会として、パネルディスカッションを開催いたします。

1. 日時

2021 年 7 月 17 日（土） 9:00～17:30

2. 会場（オンライン）

Web 会議場 [Zoom]

ホール A：

参加 URL は、お申し込み頂いた方に後日お知らせいたします。

ホール B：

参加 URL は、お申し込み頂いた方に後日お知らせいたします。

3. プログラム

8:30	開場
9:00— 9:10	開会の挨拶（所長：今村 文彦，ホール A）
9:10—12:20	[共同研究]口頭発表（午前の部 18 件）
12:20—13:20	昼休憩
13:20—16:10	[共同研究]口頭発表（午後の部 16 件）
16:20—16:25	閉会の挨拶（副所長：丸谷 浩明，ホール A）
16:25—16:30	休憩
16:30—17:30	災害レジリエンスを考えるパネルディスカッション（ホール A）

口頭発表プログラム

【ホールB】

(発表 13 分+質疑応答 5 分, 準備時間 2 分)

○：発表者

セッション：B 午前（前半）

司会者：蝦名裕一（災害人文社会研究部門 災害文化アーカイブ研究分）

[B1] 9:10-9:30 (p.h35-h36)

治水投資額と被害軽減効果の将来予測における新展開

○ 研究代表者：石渡幹夫（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

所内共同研究者：佐々木大輔（情報管理・社会連携部門 社会連携オフィス）

[B2] 9:30-9:50 (p.h37-h38)

自然災害伝承碑アーカイブの構築

○ 研究代表者：上梶 英之（国立奈良文化財センター）

所内共同研究者：蝦名裕一（人間・社会対応研究部門 災害文化研究分野）

[B3] 9:50-10:10 (p.h39-h40)

利活用を踏まえた震災アーカイブの自立的運用モデルに関する研究

○ 研究代表者：廣内 大助（信州大学学術研究院 教育学系）

所内共同研究者：柴山明寛（情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野）

[B4] 10:10-10:30 (p.h41-h42)

災害アーカイブを活用した PRERADE (Preparedness for Better Response, Recovery and Reconstruction: Learning from Disaster Ethnography) の方法論の確立

○ 研究代表者：田中聡（常葉大学大学院 環境防災研究科）

所内共同研究者：佐藤 翔輔（人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野）

10:30-10:40 （休憩 10 分）

セッション：B 午前（後半）

司会者：柴山明寛（災害人文社会研究部門 災害文化アーカイブ研究分野）

[B5] 10:40-11:00 (p.h43-h44)

災害アーカイブを用いた地域教育支援プラットフォームの検討

○ 研究代表者：柊 和佑（中部大学 人文学部）＊録画

所内共同研究者：柴山明寛（情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野）

[B6] 11:00-11:20 (p.h45-h46)

大規模災害における生命をめぐる対応の事例収集および教訓の防災教育への活用の分析

○ 発表者：北原系子（立命館大学歴史都市防災研究所客員研究員）

研究代表者：田中 成行（岩手大学 教育学部）

所内共同研究者：蝦名裕一（人間・社会対応研究部門 災害文化研究分野）

[B7] 11:20-11:40 (p.h47-h48)

教員免許状更新講習を利用した学校教員による防災教育の促進と有効性の評価

○ 研究代表者：植木 岳雪（帝京科学大学）

所内共同研究者：遠田晋次（災害理学研究部門 活断層研究分野）

[B8] 11:40-12:00 (p.h49-h50)

地域住民によるワークショップを通じた災害情報のアーカイブ化を行う防災教育プログラムの開発

○ 研究代表者：森 太郎（北海道大学大学院 工学研究科）

所内共同研究者：定池祐季（情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野）

[B9] 12:00-12:20 (p.h51-h52)

被災地の学校における心のケアと防災教育の融合プログラムの有効性と課題 -東日本大震災と北海道胆振東部地震被災地での実践から

○ 研究代表者：富永良喜（兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科）

所内共同研究者：定池祐季（情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野）

12:20-13:20 昼休憩

セッション：B 午後（前半）

司会者：杉浦元亮（災害人文社会研究部門 認知科学研究分野）

[B10] 13:20-13:40 (p.h53-h54)

震災復興に寄与する災害を生きる力因子とその原理の解明

- 研究代表者：本多明生（静岡理工科大学 情報学部情報デザイン学科）
- 所内共同研究者：杉浦 元亮（人間・社会対応研究部門 災害認知科学研究分野）

[B11] 13:40-14:00 (p.h55-h56)

災害時要配慮者の避難移動・避難生活・生活再建の各過程をヨコ串にした災害時ケアプラン作成・実施のための福祉防災人材育成プログラムの開発と実践

- 研究代表者：立木茂雄（同志社大学 社会学部）
- 所内共同研究者：佐藤 翔輔（人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野）

[B12] 14:00-14:20 (p.h57-h58)

千島海溝南部超巨大地震の事前復興計画策定に向けたアクションリサーチ

- 研究代表者：高橋浩晃（北海道大学大学院 理学研究院）
- 所内共同研究者：定池 祐季（情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野）

[B13] 14:20-14:40 (p.h59-h60)

遺構と瓦礫のあいだ-移行期被災地における残存構造物記録方法の開発-

- 研究代表者：高原耕平（人と防災未来センター）
- 所内共同研究者：ゲルスタ ユリア（情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野）

14:40-14:50 （休憩 10分）

セッション：B 午後（後半）

司会者：佐藤 健（防災実践推進部門 防災教育実践学分野）

[B14] 14:50-15:10 (p.h61-h62)

減災絵本の実証的ならびに脳科学的研究-保育者対象のアンケート調査と短期大学生を被験者とする NIRS 分析からー

- 発表者：遠藤崇広（東日本国際大学 地域連携研究センター）
研究代表者：田久 昌次郎（いわき短期大学 生涯教育研究所）
所内共同研究者：今村 文彦（災害リスク研究部門 津波工学研究分野）

[B15] 15:10-15:30 (p.h63-h64)

学校区の災害リスク理解のための地図を活用した教員研修・評価モデルの開発

- 研究代表者：桜井 愛子（東洋英和女学院大学 国際社会学部）
所内共同研究者：佐藤 健（情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野）

[B16] 15:30-15:50 (p.h65-h66)

防災対応力向上のための教材・講座の効果検証に基づく防災教育の体系化

- 研究代表者：小山 真紀（岐阜大学 流域圏科学研究センター）
所内共同研究者：柴山 明寛（情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野）

[B17] 15:50-16:10 (p.h67-h68)

避難訓練の持続可能な評価・改善に向けた学校・行政・研究者による協働モデル構築

- 研究代表者：林田 由那（宮城教育大学）
所内共同研究者：佐藤 健（情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野）

16:10-16:20 （休憩 10分）

16:20-16:30 閉会式 [ホール A（下記 URL）へ移動してください]